

# 平成16年光市スポーツ優秀選手を表彰

平成16年に活躍されたスポーツ優秀選手の表彰式が、2月24日に行われました。今回表彰を受けたのは、次の149人の方々です。受賞おめでとうございます。（敬称略）



金賞受賞者

宮内龍一郎、小川洋輝（以上、徳山高専）  
水泳 尾川穂子（水泳連盟）  
セーリング 山近宏、中村公俊、見城元一、桂潮、中村光恵、才木雪代（以上、セーリング連盟）  
フライングディスク 宮本廣美（ひかり苑）  
ボディビル 片川淳（日本ボディビル連盟）

銀賞（中国大会優勝者）

バスケットボール 和田花緒里（誠英高）  
バドミントン 松尾光平（柳井工業高）  
陸上 富田江利奈（聖光高）、梶原麻紀（陸上競技協会）

金賞（国際大会6位以内、全国大会3位以内）  
野球 和田佳弘（徳山高専）  
テニス 小川愛加（徳山高専）  
フリーテニス 高村秋人、清水靖夫（以上、武田ラビックス）、古川初江、田中晴美、山住美由紀（以上、武田薬品）  
バドミントン 星野洋子（バドミントン協会）  
サッカー 福本吉史、大村泰史、

バドミントン 山口県大会優勝者）  
野球 石橋史哉、友田遼、山下大

貴、田村真人、高橋康浩、田上裕平、橋本幸平、田村拳人、末岡昇将、前田尚活、品川幸一郎、新谷祐樹、棟近元太（以上、丸山少年野球）、宮本雄司、高橋徹、岩本隆、磯辺大二郎、中西邦彰、森清正、川崎二郎、林恭介、武末修治、重岡誠、松本圭郎、坂井純一、松浦直樹、福田一宏、鯨吉優、木下孝彦、江夏憲昭、吉村博之、倉田孝二、末広研二、小西光宣、兼清隆宏、堀本雅幸、田中太志（以上、野球連盟）  
バレーボール 広川みずき、和田瞳、中村衣里、八道春奈、八道由希奈、沖悟美、松岡愛梨香、小澤早紀、八道恵里奈、広川凜（以上、室積JSC）  
バドミントン 森永理恵奈（上島田小）、花本陽菜、柏木あゆ美、高松志帆、逸見奈月、宝迫めぐみ、田中佐知、神部智美（以上、浅江中）、逸見雪菜、花本奈菜（以上、熊毛北高）、末長南、松尾杏澄、末長夏樹、福田恵里、西本慶子、岡崎涼子（以上、バドミントン協会）  
陸上 中泉春乃、山本幸、豊田紋子、宮田麻伊、貞野夏実（以上、室積小）、田中晴佳、森下真衣、板村愛、甲斐彩花（以上、島田小）、新

山美帆、光根蒼一郎、山田彬史、清水昭一朗（以上、浅江小）、濱崎佑梨（室積中）、藤本玲、クリスチャン静香、松村雪絵、守川美穂、勝井美都（以上、島田中）、田村仁志、市川宏文、福字幸一（以上、光高）、小林弘幸（聖光高）、笠本英治、柳村勇気、藤本正洋、安野展由、堀慶美（以上、陸上競技協会）  
柔道 西野龍城、兼光亮治、兼清雅弘、松村拓記、原正太郎、兼田偉緒里、岩下優雅（以上、柔道スポーツ少年団）  
ソフトテニス 身名賀恭子、中尾朋恵（以上、浅江中）、久次徹也（光クラブ）  
空手道 河部夏実（附属光中）  
卓球 花田真由美（柳井商高）  
水泳 中谷幸博（光丘高）、宮尾真人、国近英也、金光国重、松崎京子（以上、水泳連盟）  
ヨット 藤江純也、田中里奈（以上、光高）  
少林寺拳法 高橋明良（柳井工業）  
バスケットボール 坂本里美、原田麻理（以上、日立笠戸）  
スキー 堀川勝祥（スキー連盟）



銀賞受賞者



銅賞受賞者



銅賞受賞者



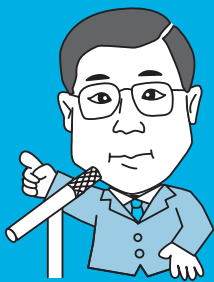
銅賞受賞者



銅賞受賞者

3月

## 市長のまちづくりメッセージ



市役所では、毎月の初日（今回は3月1日）に「市長のまちづくりメッセージ」を放送しています。市民の皆さんと『共創・協働のまちづくり』を進めていくため、その一部を掲載します。

### 市民からの信頼について

市民の皆さんから、メールや手紙、電話などで、さまざまな意見が寄せられますが、最近少し気になることがあります。それは、公立病院のあり方や地域の安全安心、公民館の設置運営など、市民生活に深く関わる問題について、とりわけ大和地域の皆さんから、疑問や不安を訴える意見が目立つことです。今回の合併は「行政改革」を大きなテーマに掲げ、各種事務事業の再構築などを進めてきましたが、その結果、特に大和地域では、市民生活に大きな変化が生じることとなりました。このため、皆さんの不安を少しでも和らげようと、さまざまなき取り組みを進め、これまで大きな混乱も見られなかっただけ

に、こうした状況を注視しているところです。寄せられる疑問や不安の中には、誤解や憶測によるものも多々あるように思います。これらの解消には、積極的な情報発信により、市民にしっかりとした事実を伝えることが大切です。特に、市民からの声に対し、文書や電話で回答を済ませるのではなく、直接出向いて協議や説明を行い、必要があれば市民や関係機関も含めた協議機関を設置するなど、活発なコミュニケーションを図る努力も必要です。市民からの信頼なくして、全国に広がるまちづくりはできません。市民の信頼を得るためには何が必要か、この機会に、皆さん自身も、よく考えていただきたいと思えます。

### 平成17年度予算について

3月の定例市議会に、平成17年度予算案を提案します。今回の予算編成は、厳しい財政環境の中で7の作業となりました。平成17年度は、新市の実質的な「まちづくり元年」となるたいへん重要な年です。このため、限られた財源を効果的、効率的に活用し、この「改革、再生、創造、融合」の4つの基本的視点から、ヒアリングや査定に臨みました。特に、合併協議で課題となっていた、大和地域の情報通信基盤整備やバス交通対策、「まちづくり市民協議会」の設置、総合計画をはじめとした各種計画類の策定などについては、新市の重点課題としてとらえ、優先的に予算化しました。

また、合併に伴い失効した市民憲章や各種宣言などについても、早急な調整を強く指示したところです。さらに、事業の選択や施策の重点化を図るとともに、合併特例債や合併市町村補助金などの財政支援措置を有効活用した結果、新市建設計画の具現化に向けて、厳しい中にもメリハリが効いた予算ができました。とは言え、本当に大切なことは、予算を編成することではなく、この予算を活用し、職員がまちづくりにどう関わり、取り組むかということです。職員の知恵と熱意を結集し、編成した予算を1円も無駄にすることがないよう、一人ひとりが責任を持って自分の仕事に取り組んでいただきたいと思います。